

企画展

# 仙台文学館の 語り部たち

資料でたどる文学の記憶

2024年 1/20(土) ▶ 3/17(日)

会場 / 仙台文学館 企画展示室

休館日 / 月曜日(2月12日を除く)、第4木曜日、2月13日(火)

開館時間 / 9:00~17:00(展示室への入室は16:30まで)

観覧料 / 一般580円、高校生230円、小・中学生110円

\*各種割引あり \*小・中学生は「どこでもパスポート」などの持参で無料

主催：仙台文学館



(公財) 仙台市市民文化事業団

仙台文学館

〒981-0902 仙台市青葉区北根 2-7-1

TEL 022-271-3020

FAX 022-271-3044

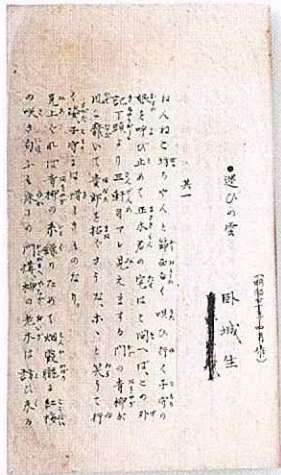
<https://www.sendai-lit.jp/>

# 企画展 仙台文学館の語り部たち ~資料でたどる文学の記憶

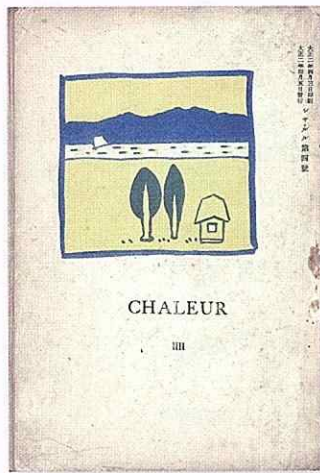
仙台文学館には、明治以降の宮城・仙台ゆかりの文学者たちの資料が眠っています。書籍や雑誌、原稿や書簡、愛用の品々など、これら資料はそれぞれの想いを今に伝える、いわば「語り部」です。本展ではそんな資料の数々を年代順にたどり、私たちが住むこの地で、どんな文学的な出来事があったのかをご紹介します。



第八回直木賞を受賞した大池唯雄に贈られた正賞の懐中時計



吉野臥城草稿「迷ひの雲」



大正時代の文芸誌「シャルル」



勝本正晃筆 小宮豊隆賛「チューリップ」

## 会期中のイベント

### ①佐伯一麦 北根ダイアログ2024 「仙台の文学 むかし・いま・これから」

仙台文学館館長の佐伯一麦が、仙台在住の直木賞作家・熊谷達也さん、文芸評論家・池上冬樹さんを迎えて、これまでの、そしてこれからの仙台の文学についてお話を伺います。

日時: 2月18日(日) 13:30~15:00

会場: 仙台文学館講習室

定員: 80人

ゲスト: 熊谷達也氏(作家)

池上冬樹氏(文芸評論家)

締切: 1月30日(火) 必着

### ②学芸員資料講座 「明治の青春群像—画家と女学生の往復書簡を読む」

明治期の仙台で活動した洋画家・布施淡と妻・豊世(旧姓・加藤)が婚約時代に交わした書簡を実際に見ながら、そこに記されたエピソードについて解説します。

日時: 2月4日(日)、2月11日(日・祝) 全2回 両日 13:30~15:00

会場: 仙台文学館講習室

定員: 10人(両回とも参加できる方)

講師: 本多真紀(当館学芸員)

参加費: 300円(2回分)

締切: 1月17日(水) 必着

#### イベント申込方法

往復はがきに、イベント名、氏名、住所、電話番号を明記の上、締切日(必着)までに仙台文学館へ。申込多数の場合は抽選に。参加の際は、企画展観覧券または半券が必要です。

\*はがき1枚に2名以上の記載があるもの、また1名で同一イベントへ複数枚の申込は無効となります。

\*いただいた個人情報は、イベントのご連絡以外に使用しません。

## 交通のご案内

- バス利用の場合 (宮城交通バス) 仙台駅西口バスプール2~4, 6番乗り場 仙台北・泉地区方面行(北山トンネル経由を除く) (市営バス) 仙台駅西口バスプール6番乗り場 八乙女駅行 ※いずれも「北根二丁目・文学館前」下車
- 地下鉄利用の場合 地下鉄南北線「台原駅」下車、南1番出口より徒歩約25分(台原森林公園内あかまつの道経由) ※山道です。雨天時・降雪時は道が滑りやすくなりますのでご注意ください。
- 駐車場40台(無料) 台数に限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。



(公財) 仙台市市民文化事業団  
**仙台文学館**

〒981-0902 仙台市青葉区北根 2-7-1  
TEL 022-271-3020  
FAX 022-271-3044  
https://www.sendai-lit.jp/

## 今後の展覧会

開館25周年記念特別展「詩人・石川善助」(仮称)  
2024年4月~6月(予定)

## 展示解説

### 日時

1月27日(土)

2月25日(日)

両日 13:30~14:30

### 会場

仙台文学館  
企画展示室

※申込み不要、直接会場へ  
※企画展観覧券が必要です

